

- 問1 日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、古いなどの記録のために甲骨文字が使用された。

2. インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。

3. チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。

4. ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。
- 問2 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何といますか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. ルネサンス

2. 十字軍

3. 宗教改革

4. 異端審問
- 問3 古代文明の文化や技術に関する記述のうち、古代エジプト文明について述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 農作業の時期を把握するために太陽の動きに基づいた暦が作られ、神殿の壁などには神聖文字が刻まれた。

2. 月の満ち欠けに基づいた暦が使用され、粘土板には楔（くさび）のような形の文字が書き残された。

3. インダス川流域で発達し、印章などに独自の文字が刻まれたが、現在もその多くは解読されていない。

4. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻み、それを用いて国家の重大な事柄を占う政治が行われた。
- 問4 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された

2. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた

3. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された

4. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
- 問5 西アジアで成立したイスラム教と、同時期の日本や東アジアの状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. イスラム教が誕生したのと同じ世紀に、日本では平氏による武家政権が誕生し、日宋貿易が盛んに行われていた。

2. ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。

3. イスラム教が成立した時期、日本では卑弥呼が中国の魏に使いを送っており、邪馬台国が勢力を持っていた。

4. ムハンマドが宗教活動を始めた時代、日本では聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺を建てていた。
- 問6 中国の漢の時代に整備された、中国と西アジアや地中海沿岸地域を結ぶ交通路を何と呼びますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 御成道

2. 海の道

3. シルクロード

4. 万里の長城
- 問7 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 京都府公立入試 類似）

1. 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。

2. 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。

4. 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
- 問8 チグリス川とユーフラテス川の流域で成立した古代文明において、粘土板に刻んで使用されていた文字を何といますか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 楔形文字

2. 甲骨文字

3. インダス文字

4. 象形文字（ヒエログリフ）
- 問9 日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 仏教

2. キリスト教

3. ヒンドゥー教

4. イスラム教
- 問10 日本の歴史における出来事や文化と、それが属する時代の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 正倉院に宝物が納められ天平文化が栄えた — 室町時代

2. 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代

3. 勘合を用いて明と貿易が行われた — 奈良時代

4. 朝鮮への兵の提出に際して多くの陶工が連れてこられた — 鎌倉時代
- 問11 世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. イエスによるキリスト教の成立と、日本での仏教の伝来

2. ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用

3. シャカによる仏教の創始と、日本での稲作の普及

4. 孔子による儒教の成立と、日本での古墳の築造
- 問12 日本の古代文化において、遠く離れたギリシャ文化の影響が指摘されることがあります。法隆寺の建築様式や金堂壁画に見られる、ギリシャ文化とオリエント文化が融合した文化の影響について、その伝播の経緯を説明したものとして適切なものを選んでください。（2022年 岐阜県公立入試 類似）

1. 十字軍の遠征によってヨーロッパに伝わったオリエントの技術が、大航海時代の宣教師によって飛鳥時代の日本へ紹介された。

2. 遣隋使や遣唐使が地中海沿岸まで直接渡航し、古代ギリシャの写実的な彫刻技法や絵画技法を直接日本に持ち帰った。

3. 唐の時代に完成した水墨画の技法が、ギリシャの遠近法と偶然一致したことで、日本の寺院建築の装飾として採用された。

4. アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。
- 問13 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何といますか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）

1. 太陰暦

2. グレゴリオ暦

3. 太陽暦

4. 二十四節気

答え合わせ・解説

問1	答え 1 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。	中国文明は、紀元前16世紀ごろに黄河流域で興った「殷（いん）」などの王朝を中心に発展しました。この文明では祭祀のために精巧な青銅器が作られたほか、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われており、これが現在の漢字の原型となりました。他の選択肢はメソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明の特徴を示しています。
問2	答え 2 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問3	答え 1 農作業の時期を把握するために太陽の動きに基づいた暦が作られ、神殿の壁などには神聖文字が刻まれた。	古代エジプトは「ナイルのたまもの」と称されるように、川の氾濫がもたらす肥沃な土壌によって農業が発展しました。そのため、氾濫の周期を正確に捉える太陽暦の発達は生存に直結する重要な技術でした。神聖文字（ヒエログリフ）は、パピルスという植物から作られた紙に書かれるほか、石碑や神殿に刻まれて記録として残されました。他の選択肢は順に、メソポタミア文明、中国文明、インダス文明の説明です。
問4	答え 4 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問5	答え 2 ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。	イスラム教の成立は7世紀であり、この時期の東アジアでは中国で唐（618年～）が成立し、日本では大化の改新（645年）が行われるなど、中央集権的な国家体制の構築が進んでいました。卑弥呼は3世紀、武家政権の誕生は12世紀、聖武天皇の治世は8世紀の出来事であるため、これらはイスラム教の成立時期とは一致しません。
問6	答え 3 シルクロード	漢の武帝の時代に派遣された張騫の遠征などをきっかけとして、中国の特産品である絹が西方へ運ばれたことから「絹の道」とも呼ばれます。この道を通じて、西方の文化や宗教が中国へ、そして日本へと伝わるきっかけとなりました。
問7	答え 1 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問8	答え 1 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。
問9	答え 4 イスラム教	7世紀の西アジアでは、ムハンマドが唯一神アッラーの教えを説くイスラム教を創始しました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子の政治や大化の改新（645年）が行われていた時代と一致します。シャカによる仏教やギリシャのポリス形成は紀元前の出来事であり、イエスによるキリスト教の成立は1世紀のことです。
問10	答え 2 渡来人によって須恵器の技術が伝えられた — 古墳時代	渡来人によって須恵器の作製技術が伝えられたのは古墳時代です。正倉院や天平文化は奈良時代、勘合貿易は室町時代、朝鮮侵略にともなう陶工の来日は安土桃山時代の出来事となります。
問11	答え 2 ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問12	答え 4 アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。	ヘレニズム文化は、ギリシャ文化が東方へと広がる中で現地の文化と混ざり合い、ガンダーラ美術などの仏教美術に大きな影響を与えました。これが中国や朝鮮半島を経由し、仏教とともに日本へ伝わったため、法隆寺の金堂壁画や柱の膨らみ（エンタシス）などに、遠く離れたギリシャ文化との共通点が見られることになりました。これは当時の日本が国際的な文化交流のネットワークの終着点であったことを示しています。
問13	答え 3 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。